

未来に向け発展し続ける津市を目指して

津市議会

市民の皆さま、新年おめでとうございます。希望に満ちた平成29年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、熊本、鳥取を震源とする地震や北海道への台風襲来による災害が発生するなど、改めて自然の猛威を痛感した一年となりました。津市においては、災害により一部不通となっていたJR名松線が、関係各位はもとより地域の皆さまのご理解とご協力により、6年半の歳月を経て全線復旧いたしました。また、防災物流施設の建設、さらには、海岸堤防、(仮称)香良洲高台防災公園、新しい応急診療所の完成に向けた槌音が響くなど、折しも新津市誕生10周年の節目にふさわしく、安全・安心のまちづくりが着実に進んだ一年でありました。引き続き、市民の皆さまの安全・安心のための施策の実施に向け、活発な議論を展開してまいります。

さて、わが国は、少子化、高齢化による人口減少社会の渦中にあり、政府においては、一億総活躍社会の実現と銘打ち、子育てや介護の環境整備に向けた取り組みが進められています。地方においては、こうした国の動向とともに、地方が直面している厳しい地域経済、財政状況の実態を踏まえながら、行政を展開していかな

ければなりません。

今、津市では、平成30年度からスタートする次期総合計画や都市マスタープランの策定が進められています。津市議会では、こうした新たな津市のまちづくりの方針が、将来にわたり市民の暮らしを支える行政サービスの持続的な発展につながるよう、36人の議員全員が目を光らせ、行政のチェック機能としての役割を適切に発揮していくとともに、議会の総力を結集して、未来の津市の方向性をしっかりと議論してまいります。

同時に、その議論を市民の皆さまに、より分かりやすく発信していくための取り組みも進めます。昨年12月の第4回津市議会定例会から議会映像がスマートフォンでも視聴できるようになりました。ぜひ、津市議会ホームページをご覧くださいと存じます。併せて補聴器をしている方が会議をクリアな音声でお聴きいただけるよう、傍聴席に磁気誘導ループを設置いたしました。

今後とも、議会運営の改善に不断の努力を続けつつ、津市の未来の発展に向け、皆さまとともに歩んでまいります。

この一年が市民の皆さまにとりまして、輝かしい年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

